

予約型乗合交通ふれあい号の現状と課題

	現状	課題	考えられる見直し案
利用者	市民（住民登録のある方） 事前の利用登録が必要	事前登録が対面受付のみ	電子申請の導入
利用料金	1乗車250円（利用券方式）	近隣自治体と比較すると安価 JOYBUSとの差別化	値上げの検討 距離別運賃の導入
予約方法	電話予約 専用の予約センターあり	電話がつながりにくい	Web予約の導入検討
予約システム	AIオンデマンドシステムを導入	AIオンデマンドシステムの効果検証	*****
車両	市内タクシー事業者から借上 セダンタイプ3台（乗客定員：3人）	車両数が年々減少 予約お断り件数の増加	増車の検討 ワゴンタイプ車両の導入検討
運行区域	市内全域 市内であればどこへでも行ける 個人宅⇒個人宅（知人宅）などの利用も可能	通院、買い物のための移動手段が足りない（≒ふれあい号を増車して欲しい） というご意見	乗降場所を限定（利用者宅、鉄道駅・バス停、医療機関、郵便局、金融機関、商業施設、公共施設など）
運行回数	1日9便 ※8時から17時までの間を1時間おきに運行 ※1台当たりでは1日8便運行	1時間で完結する運行（配車）である必要がある（≒00分を跨いでの運行ができない）	時間便制の廃止

- 単に増車するのではなく、まずは複数の見直し策を組み合わせることで、運行（サービス）の効率化を図る
- 効率化（≒サービス水準の向上）と併せて、利用料金の見直しについて検討していく